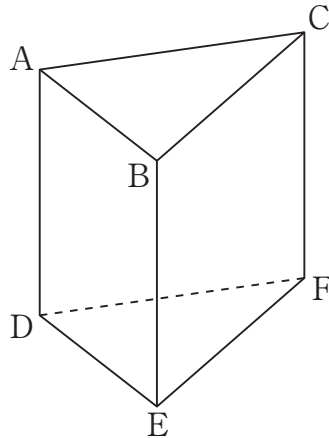
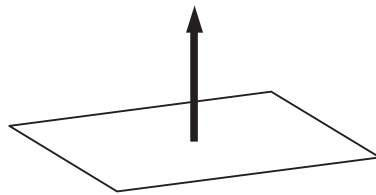


5 次の(1)から(4)までの各問いに答えなさい。

- (1) 下の図の三角柱には、辺ADとねじれの位置にある辺がいくつかあります。そのうちの1つを書きなさい。

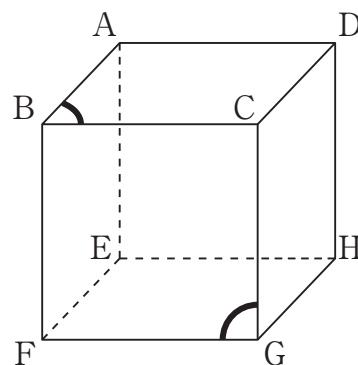


- (2) 四角形が、その面に垂直な方向に一定の距離だけ平行に動くと、その動いたあとを立体とみることができます。このとき、できる立体の名称を書きなさい。



(3) 右の図は立方体の見取図です。

この立方体の面 $ABCD$ 上の $\angle ABC$ と、面 $BFGC$ 上の $\angle FGC$ の大きさを比べます。 $\angle ABC$ と $\angle FGC$ の大きさについて、下のアからエまでのの中から正しいものを1つ選びなさい。



ア $\angle ABC$ の方が大きい。

イ $\angle FGC$ の方が大きい。

ウ $\angle ABC$ と $\angle FGC$ の大きさは等しい。

エ どちらが大きいかは、問題の条件だけでは決まらない。

(4) 下の図1は円柱で、図2は円錐^{すい}です。それぞれの立体の底面の円は合同で、高さは等しいことがわかっています。図1の円柱の体積が 600 cm^3 のとき、図2の円錐の体積を求めなさい。

図1

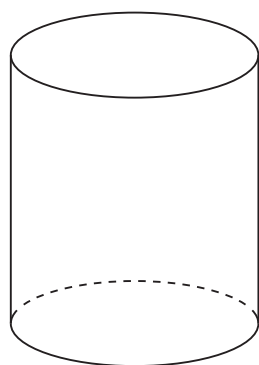


図2

